

2026年3月23日

健康経営優良法人（大規模法人部門）に認定

社員の健康保持・増進を経営の重点課題として推進

当社は、このたび経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に認定されました*。



2030年度目標である「KOEI Vision 2030」において“皆が働きがいを持ち幸せになれる会社”をありたい姿の一つとして掲げ、社員が健康で働くことを経営基盤の重要な課題と捉えています。こうしたビジョンの実現に向け、トップが「広栄化学健康宣言」にコミットし、全社的な環境整備を継続して進めています。

中期経営計画においては、「社員エンゲージメント向上（EX：Employee engagement Transformation）」を経営基盤強化の重点課題として、社員が能力を発揮し、組織としての生産性を更に高めるには、安心して働ける職場環境と健康支援の仕組みが不可欠であるという考えのもと、健康経営の実効性向上に取り組んでいます。

具体的には、以下の3領域で施策を推進し、社員が自らの健康に目を向け、気付きを改善につなげる体制づくりを目指しています。

■健康保持・増進

健康診断受診の徹底（受診率100%維持）、産業保健師による健康管理・相談対応、歩行姿勢測定会やインボディ測定会等の健康イベント開催を通じて社員の健康保持・増進に努めています。

■メンタルヘルス対策

全社員対象のメンタルヘルス研修、ストレスチェックの実施とフォロー等を通じてメンタルヘルスの維持向上に努めています。

■ワークライフバランスの向上

在宅勤務およびフレックスタイム制の活用、所定外労働時間の削減、有給休暇取得の促進等を通じて社員が仕事とプライベートを両立させることのできる環境づくりを行っています。

当社は、今後も、社員一人ひとりが心身ともに健康で活躍できる環境づくりを推進し、健康経営に取り組んでまいります。

*健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している法人を日本健康会議が認定する顕彰制度です

以上